



歯科口腔外科を受診されておられる木村雅之さんよりご提供



地域とつながる看護

国家公務員共済組合連合会 名城病院看護部長

和田 一枝

人口減少と高齢化が同時に進む中、6月には「地域医療・介護推進法」が成立するなど、2025年に向けての動きがいよいよ現実味を帯びてきました。

慢性疾患や足腰の衰えにより自立した生活が困難になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができる仕組み作りを国は目指しています。病院は病気の治療をする場であることに変わりはありませんが、在宅療養への橋渡しも重要な機能の一つとなっています。

当院が地域の診療所の先生方との連携に取り組み始めてから10年以上経ちましたが、看護師間の連携はかなり遅れを取っていると

言わざるを得ません。

しかし、患者さんの退院後の生活にも目を向けたいという現場の看護師の思いは、年々強くなっています。

入退院を繰り返される方の中には、薬が正しく飲めない方や、様々な生活管理面での問題を抱えていらっしゃる方があり、入院早期から問題解決に取り組まなくてはならないからです。

地域の訪問看護ステーション、介護施設、その他関連施設で働く看護職との連携の必要性を誰よりも強く感じているのは、自分の担当する患者さんの退院後の生活を案じる看護師たちに他なり

ません。

現在当院では、病診連携室（地域の診療所と病院との連携をはかる部署）に看護師を配置し、パイプ役として地域とのつながりを深めていくことに取り組んでいます。

地域での暮らしを支える看護職からの情報は、急性期治療を安全に進める上で欠くことのできないものであり、退院後も続く医療処置や生活上の注意点については、確実に伝えておきたい事柄です。

当院のがん性疼痛看護や摂食・嚥下障害看護の認定看護師も退院に向けてのカンファレンスに参加し、退院後の生活を支えていきたいと考えています。

病院の診療機能だけでなく、看護の面でも在宅療養を支援し、地域になくってはならない病院を目指していきたいと思います。



市民公開講座のお知らせ

名城病院では市民公開講座を行います。お気軽にご参加ください。



日時 平成26年9月25日(木)
11:00~12:00

テーマ 「カプセル内視鏡
～飲むだけで腸を調べてみませんか?～」

会場 名城病院 地下1階 大会議室
(参加費無料)

講師 名城病院 消化器内科医長 水谷 太郎

お席に限りがありますので、ご予約をおすすめします。

※ 講座でカプセルを飲むことはありません。

お問合せ・ご予約 名城病院 公開講座係 ☎ (052) 201-5311 (内線 2145)

小児循環器科

小児循環器科医長

小島奈美子

学校心臓検診で発見される不整脈について

こどもの不整脈は多くの場合自覚症状に乏しく、検診で異常を指摘され来院されます。学校では、小学1年、中学1年、高校1年生全員に心電図記録が義務付けられています。検診の主な目的は、不整脈や心筋症の発見・管理指導、先天性心疾患の発見、心臓手術例の管理です。心電図受診率は99～100%で、そのうち要精密検査とされるこどもはおよそ5%前後といわれています。

学校検診で指摘される不整脈は、単発で頻度の少ない上室あるいは心室期外収縮など問題ないものから、運動制限や予防内服、入院精査が必要となるものまで様々です。なかでも運動誘発性心室頻拍とQT延長症候群

は、見た目は健常児と同じく元気ですが、部活動や水泳で失神発作を起こし致命的になる可能性もあり得るため管理が重要な疾患です。Brugada症候群やQT短縮症候群も突然死の原因となり得るため注意深く観察しています。

遺伝性の疾患が隠れていたり、失神発作をてんかんと誤診断されていることもあるため、診察は家族歴や今までのエピソードなどを詳しく問診することから始まります。当院では心電図、心エコー、マスター負荷運動心電図などが予約なしで当日に施行でき、また必要に応じてトレッドミル負荷試験、24時間心電図、3DCT、MRIなどによる精査も可能です。それらの



結果を踏まえプール、持久走、部活動などへの参加の仕方や今後の定期通院の要否、治療の要否など細やかな指導を行っています。

残念なことに全国では年間約30件ほどこどもの心臓による死亡事故がおこっており、多くは不整脈や心筋症など心電図異常に関連するものだと言われています。当科では今後も迅速かつ正確に診断を行い、日常生活での注意点などわかりやすくご説明することを心掛けて参ります。ご心配ご不明な点があれば遠慮なくスタッフにおたずねください。

5階病棟

5階病棟師長

小澤加奈子

5階病棟紹介

当院5階病棟は、産婦人科がメインの混合病棟で、産婦人科外来を同フロアに設置しております。

産科の患者さんは、外来・病棟スタッフと共に、助産外来による患者さんのニーズに応じた生活指導、また、高度な知識・

技術を取得した助産師による母乳外来の実施、母親教室など妊婦から出産後に至るまでの一連の経過を共有しながら質の高い指導を心掛けています。婦人科の患者さんは、手術や化学療法を目的に入院されるため、安全・快適な療養環境の提供と安心して入院生活を送っていただける看護を行っております。

その他では、整形外科中心に

内科・循環器科などの患者さんが入院されることもあります。

私たち5階病棟スタッフ一同は、常に笑顔を決やさず患者さんに寄り添った看護を目指しております。

また里帰り出産も受け入れておりますので、ぜひお声掛けください。



えんげ 摂食嚥下障害看護認定看護師の活動について

摂食嚥下障害看護認定看護師 水野充人

摂食(食事をとる)嚥下(飲み込む)障害とは、本来私たちが当たり前のように行っている、「食べる」、「飲む」といった行為に障害をきたした状態です。

嚥下障害の主な原因として、脳血管障害による麻痺や、神経・筋疾患、また加齢による筋力の低下などが挙げられます。人間の「食べる」という行為は、栄養補給だけを意味しているものではありません。家族や友人などとの重要なコミュニケーション手段であり、人生における楽しみでもあります。

食べる機能が失われた患者さんの失望は計りしれません。そのため、食べる機能を取り戻した時の喜びはとても大きいものです。その喜びに向けて患者さんと共に取り組んでいけるこの

活動はとても重要で、やりがいがあります。

具体的な活動内容は、院内研修の開催、言語療法士や理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、薬剤師などと連携し、患者さんやその家族の方に誤嚥^{ごえん}を予防するための食事形態や調理方法、安全な食事介助の方法、歯

みがきの方法などの指導を行っています。さらに、医療ソーシャルワーカーや退院調整看護師とも連携をはかり、安心して退院後の生活を過ごせるように日々取り組んでいます。

※食物などが、なんらかの理由で誤って喉頭と気管に入ってしまう状態



大人の風疹対策

感染管理認定看護師 藤岡江里

感染管理認定看護師の藤岡江里と申します。今年7月より感染管理認定看護師として活動しております。皆様のためになるような情報発信もしていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

風疹は、風疹ウイルスによって起こる感染症で、「3日はしか」とも言われています。感染している患者さんが、くしゃみや咳をすることで唾と一緒にウイルスが飛び出し、周囲にいる人に感染させます。

風疹は子どもの病気のように思われているかもしれませんが、平成24年～平成25年にか

けて大人の間で広がっています。(平成24年2,386名、平成25年14,357名(感染症発生動向調査より))

風疹は一度かかると免疫が生涯続くと言われていました。風疹にかからなくても風疹予防ワクチンを接種することで免疫を得ることができます。

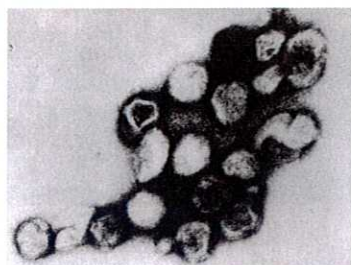
日本の風疹の予防接種制度は、昭和52年8月から「中学生の女子」を対象に集団接種が開始されました。

現在問題となっているのはワクチン接種制度から外れた時期に生まれた子どもが大人になり、感染する危険性があるとい

うことです。

風疹ウイルスの感染力は強く、インフルエンザの2倍から4倍あると言われていました。妊婦が風疹ウイルスに感染することで胎児が先天性の障害(先天性風疹症候群)を持って生まれる危険性があります。

生まれてくる赤ちゃんを守るためにも妊娠を希望する方は、風疹の予防対策(抗体価検査、ワクチン接種など)をお勧めします。



風疹ウイルス Rubella virus

患者さん



当院で出産されたママさんからいただきました。

意見 切迫で入院をし、モヤモヤした10ヶ月間の妊婦生活でしたが、入院中も心強い温かいサポート看護をしていただきました。

定期検診での助産師さんとのお話でたくさん勉強になり、勇気づけられました。特に担当の近藤先生には、流産手術の時からずっと優しく気にかけていただき、無事にこうして初めての息子を抱けた今、感謝の想いしかありません。ありがとうございました。

帝王切開での出産後、傷の痛みと共に始まった授乳。初めての事で戸惑いもありましたが、5階病棟の看護師さんも助産師さんも、授乳指導に熱心に取り組んでみえて、母乳で育てたい私にとっては大変ありがたい環境で産後過ごすことができました。

母乳スペシャリストもいる名城病院でお産ができたこと、本当に良かったです。退院後も楽しみながら育児をがんばります。



回答 ありがとうございました。

妊娠中は2回の入院をされ不安で大変な日々をすごされたと思います。入院中もスタッフの指導に耳を傾けていただき、妊娠・出産・育児の学習をされていたことを思い出しました。お産は帝王切開でしたが、母児共に元気に退院の日を迎えられ本当に良かったと思っています。このお言葉に恥じないよう看護を実践していきます。次のお子様の時もお待ちしています。

産科医師、5階病棟スタッフ一同

私たちと一緒に動きませんか？

常勤看護師募集!!



看護師・助産師免許取得または取得予定の方、ぜひ一度病院見学・インターンシップにご参加ください。詳しくはホームページ 又は 052-201-5311 人事担当 岡島まで



編集



いよいよ暑い夏がやってきました。今年も名古屋は猛暑日が何度もあるかと思うと、憂鬱になってしまいます。多くの子どもたちにとっては待ちに待った夏休みですが、当院には夏休みも入院生活を送っている子どもたちがたくさんいます。そこで7月3日に日本ホスピタルクラウン協会から2名のホスピタルクラウンをお呼びし、ピエロの格好をしたクラウンが、入院生活を送る子どもたちに元気を届けに来てくれました。患者さん・保護者の方もみんなニコニコ、明るい笑顔を見ることができ、私も元気をもらえた瞬間でした。当分暑い日が続きますが、20年以上前の夏に感じた、ワクワクした気持ちを思い出しました。 H・O

後記

名城病院診療等のご案内

ホームページはこちら <http://www.meijohosp.jp>

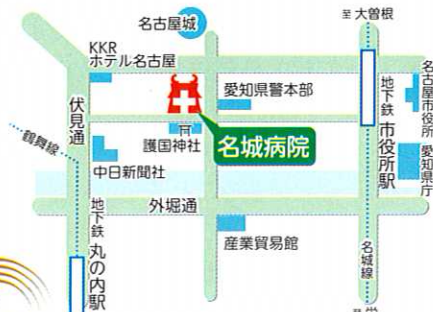
診療科目
内科・循環器科・小児科(小児循環器) 外科・整形外科・心血管外科・脳神経外科
皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科
歯科口腔外科・神経内科

診察受付時間
[新患受付] 午前 8:30 ~ 11:30 まで
[再来受付] 午前 8:00 ~ 11:30 まで
面会時間
[一般] 午後 0:30 ~ 8:00 まで
[新生児] 午後 0:30 ~ 8:00 まで (授乳時間を除く)
[ICU] 午後 0:30 ~ 4:30 まで (家族のみ) 午後 5:00 ~ 8:00 まで

診療案内
[休診日] 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)

所在地
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL (052) 201-5311 FAX (052) 201-5318

お問合せは、
・ 午後の診療等、詳しくは、医事課まで (内線 2132)
・ 病診連携に関しては、病診連携室まで (内線 2151)
医療機関の方へ
・ 医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで (内線 5105)



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。